

平成30年度 NPO 法人近江湖西会 事業報告

平成30年度は、法人運営のあり方を見つめ直した1年であった。
近江湖西会は伝統ある湖西地域の精神障がい者家族会を母体とし、NPO 法人化した経緯がある。

また、当初から、目指す事業として明確にしてきたのは、①共同作業所と、②（精神障がい者）支援センターであったつまり、働く場の提供と、相談事業を含めた総合的な精神障がい者の生活支援センターをイメージしていたと考えられる。

その後の経過の中で、共同作業所（「マキノぼら園」）は就労継続支援 B 型事業に移行し（現在の「すみれ」）、事業所の「サービス管理責任者」が支援センター的な働きを代行しようとしてきたのが実情だったと言える。

母体であった家族会としての幅広い「願い」・「思い」と、一つの「障害福祉サービス事業」である就労継続支援 B 型事業所「すみれ」のあり方を整理・区別する必要があった。

地域に必要とされる、総合的な生活支援センターの役割を、事業所のサービス管理責任者が果たすのは少し無理があり、また、当初の願いや思いの共有が十分でなかった感がある。

こうした未整理の部分の確認もあり、平成30年度、家族会は独自の任意団体への移行も含め、本来のあり方を再検討、補助金は申請せず、バザー収益などで身の丈にあった地道な活動を試みた。そうした中で、強いリーダーに頼ることなく、会員一人ひとりが積極的に活動に参加し、本来の原点に立ち返る機会を得ることができた。

一方、すみれは、精神障がい者の B 型事業所として、全国的に安定通所が難しい中、一日に2回の送迎体制や静かな作業環境、治具の工夫などで平均工賃も回復、賞与も出せたり、また、楽しい行事も取り入れ、一定の成果をあげることができた。

法人としては、理事長・監事が時間の許す限り家族会に参加、思いや願いの共有に努めるとともに、理事長として、精神保健福祉の最新の情報を学び（精神保健福祉士を取得）、行政や地域のサロン活動を行う団体との情報共有や連携を図り、当初の法人の原点に帰って方向性を模索した1年であった。

平成30年度 すみれ事業報告

1. 事業の目的と運用

障害者自立支援法に基づき、一般企業での就労が困難な利用者に対して、働く場を提供するとともに、知識、能力の向上に必要な支援、訓練を行った。

正職員1名の産休及び育休による長期離脱を他の職員で一生懸命バックアップし、乗り切った。

2. 事業の概要

①福祉事業活動

事業計画で掲げた利用者の増員については、新規入所契約4名・退所7名と利用者の大幅な減とになってしまい、年度末の契約者数14名、実利用者11名という形で締めくくることがとなった。

また、多大な戦力となってくれていた50代利用者が1月に自らの命を絶った。

実習生は結果、8名の受入れを行い、その半数が利用契約に結びつけることができた。

通所率については55%を掲げていたが、結果49%で終えた。(前年度45.5%)ハードルは高い。

今年度も職員の研修については、日々の職業指導に追われ、内部研修の機会さえ設けることができず、反省している。

②就労支援活動

請負元から多種の作業受注をいただき、予算(255万円)を上回る収入を得ることが出来た。

従って利用者に夏期及び冬期賞与(計43万円)を還元することができ、事業計画の平均工賃目標を達成できた。次年度につなげていく。

今年度も利用者の作業の幅を拡げられるように作業の治具化をスタッフが推進してくれた。継続して利用者の適正を見極め指導していきたい。

③その他

送迎車の更新について、リース方式にて大型10人乗りの新車を導入した。

就労継続支援B型事業(定員20名)

1. 運営の実績

(1) 施設の利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計平均
開所日数	20	21	21	21	19	17	22	21	19	18	19	20	238日
実利用者数	17	13	15	16	13	13	14	14	14	15	14	14	14.3人
延利用者数	203	205	193	215	189	159	213	200	193	188	177	175	2,310人日
平均利用者数	10.2	9.8	9.2	10.3	10.0	9.4	9.7	9.6	10.2	10.5	9.4	8.8	9.8人/日
利用率	51.0%	49.0%	46.0%	51.5%	50.0%	47.0%	48.5%	48.0%	51.0%	52.5%	47.0%	44.0%	49.0%

(2) 利用者支援の実績

① 支払工賃について

・工賃総額 1,789,231円 (29年度工賃総額 1,059,905円)

・月一人当たり平均工賃 10,166円 (29年度平均工賃 6,385円)

② 毎日の作業内容と利用者の作業への適正や体調により、作業の担当を変えることで

全員が気持ち良く作業できるように支援した。

③ 関連機関・事業所との連携を図り、利用者さんが地域での生活がよりし易くなるよう支援した。

(3) 実習生の受入状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
受け入れ人員	0	1	0	2	0	2	1	1	0	0	1	0	8

2. 職員数

職 種	所 長	サービス管理責任者	生活支援員	職業指導員	事務員	合計
職員数(人)	1(兼務)		1	2	0	4

※ 年度途中に職業指導員1名退職。生活支援員は育休中で除外。

3. 施設の行事

- ・30年4月 桜の花見(安曇川町)
- ・30年5月 焼肉パーティー
- ・30年7月 福井若狭町海浜自然センター
- ・30年10月 琵琶湖半周ドライブ
- ・30年12月 映画鑑賞(敦賀市)

4. 非常災害対策

消防計画に基づき避難訓練を実施するとともに、消防器具の点検、整備を行い災害に備えた。

平成30年度 近江湖西会 家族会 事業報告

1. 年度総括

平成30年度は、障害福祉サービス事業の運営を行うNPO近江湖西会と一定の距離を置き、伝統ある湖西地域の精神障がい者家族会として、「任意団体」への移行を検討した一年であった。

当面、複雑な申請・報告事務、会計事務を伴う補助金申請を控え、身の丈に合った活動を行った。小口現金を基本に、バザー収益などを資金にして、収支は法人とは独立していたため、30年度の会計報告は省略し、小口現金の残高を報告するにとどめたい。

次年度(令和1年度)は、従来通り、NPOの家族会として活動、補助金申請も行う方向である。

2. 事業報告

時期	事業名	参加者数	内容
----	-----	------	----

◇家族会開催

(定例会：原則 月1回、臨時会議：行事準備時期、その他必要時)

4月20日	第1回家族会		
5月18日	第2回家族会		
6月19日	第3回家族会		
7月24日	第4回家族会		
8月休会			
9月18日	第5回家族会	約10名	当事者・家族の近況報告、情報交換、意見交換など (行事前は打ち合わせ、準備を含む)
10月16日	第6回家族会		
11月20日	第7回家族会		
12月17日	第8回家族会		
1月6日	第9回家族会		
2月6日	第10回家族会		
3月15日	第11回家族会		

※家族会開催日は前月の開催時に、全員の都合を聞き決定。

◇年間行事

H30.6.2	藤美寮まつり参加	約5名	地域の福祉拠点施設で福祉団体が集う恒例行事に参加、出店。活動の周知を図り、地域との交流を深める。
H30.11.10	市民活動フェスタ参加	約5名	地域の市民活動拠点で諸団体が集う恒例行事に参加、出店。活動の周知を図り、地域との交流を深める。

活 動 計 算 書

[税込] (単位: 円)

NPO法人 近江湖西会

自 平成30年 4月 1日 至 平成31年 3月31日

【経常収益】			
【事業収益】			
自立支援給付費収益	14,550,780		
就労支援事業収益	3,143,333		
【その他収益】			
受取利息	15		
雑収益	537,965	537,980	
経常収益計			18,232,093
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
給料手当(事業)	9,563,501		
法定福利費(事業)	1,128,819		
福利厚生費(事業)	209,174		
人件費計	10,901,494		
(その他経費)			
就労支援事業費用	3,143,333		
業務委託費	69,120		
給食費	838,596		
旅費交通費(事業)	2,820		
車両費(事業)	727,856		
通信運搬費(事業)	65,640		
消耗品費(事業)	158,274		
修繕費(事業)	365,205		
水道光熱費(事業)	84,418		
地代家賃(事業)	600,000		
賃借料(事業)	611,712		
減価償却費(事業)	249,376		
保険料(事業)	245,480		
諸会費(事業)	24,000		
租税公課(事業)	41,600		
支払手数料(事業)	12,084		
雑費(事業)	14,792		
その他経費計	7,254,306		
事業費計		18,155,800	
経常費用計			18,155,800
当期経常増減額			76,293
【経常外収益】			
経常外収益計			0
【経常外費用】			
固定資産売却損		881,470	
経常外費用計			881,470
税引前当期正味財産増減額			△ 805,177
当期正味財産増減額			△ 805,177
前期繰越正味財産額			6,840,313
次期繰越正味財産額			6,035,136

貸借対照表

NPO法人 近江湖西会
全事業所

[税込] (単位: 円)
平成31年 3月31日 現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
(現金・預金)			
現金	44,585		
普通預金	1,985,564		
現金・預金計	2,030,149		
(売上債権)			
未収金	3,414,567		
売上債権計	3,414,567		
(棚卸資産)			
貯蔵品	2,502		
棚卸資産計	2,502		
流動資産合計		5,447,218	
【固定資産】			
(有形固定資産)			
建物	815,975		
車両運搬具	2		
什器備品	362,790		
有形固定資産計	1,178,767		
固定資産合計		1,178,767	
資産合計		6,625,985	
		《負債の部》	
【流動負債】			
未払金	340,198		
預り金	250,651		
流動負債合計		590,849	
負債合計		590,849	
		《正味財産の部》	
前期繰越正味財産		6,840,313	
当期正味財産増減額		△ 805,177	
正味財産合計		6,035,136	
負債及び正味財産合計		6,625,985	

財 産 目 録

NPO法人 近江湖西会
全事業所

[税込] (単位: 円)
平成31年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金

44,585

就 労

(44,585)

普通 預金

1,985,564

滋賀銀行

(3,122)

滋賀銀行

(1,754,063)

滋賀銀行

(228,379)

現金・預金 計

2,030,149

(売上債権)

未 収 金

3,414,567

売上債権 計

3,414,567

(棚卸資産)

貯 蔵 品

2,502

棚卸資産 計

2,502

流動資産合計

5,447,218

【固定資産】

(有形固定資産)

建 物

815,975

車両運搬具

2

什器 備品

362,790

有形固定資産 計

1,178,767

固定資産合計

1,178,767

資産合計

6,625,985

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金

340,198

預 り 金

250,651

社会保険料

(228,050)

源泉所得税

(22,601)

流動負債合計

590,849

負債合計

590,849

正味財産

6,035,136